

授 業 概 要

授業のタイトル（科目名） 高齢者福祉		授業の種類 (講義・演習・実習)	授業担当者 木村 彰裕	科目コード 3013
回数 15回	時間数（単位数） 30時間	配当学年・時期 1年 前期	必修 ・ 選択	
【授業の目的・ねらい】 ①高齢者の定義と特性を踏まえ、高齢者とその家族の生活とこれを取りまく社会環境について理解する。 ②高齢者福祉の歴史と高齢者観の変遷、制度の発展過程について理解する。 ③高齢者に対する法制度と支援の仕組みについて理解する。 ④高齢期における生活課題を踏まえて、社会福祉士としての適切な支援の在り方を理解する。 【授業全体の内容の概要】 「高齢者と少子高齢社会」、「高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境」、「高齢者福祉の歴史と理念」、「介護保険制度」、「高齢者に対する関連諸制度」、「高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割」、「高齢者と家族等に対する支援の実際」について学ぶ。 【授業修了時の達成課題（到達目標）】 1. 高齢者と少子高齢社会について説明できる。 2. 高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境について説明できる。 3. 高齢者福祉の歴史と理念について説明できる。 4. 介護保険制度について説明できる。 5. 高齢者に対する関連諸制度について説明できる。 6. 高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割について説明できる。 7. 高齢者と家族等に対する支援の実際について説明できる。				
【授業の日程と各回のテーマ・内容・授業方法】 1. オリエンテーション（シラバス、国家試験の傾向） 2. 高齢者の定義と特性 3. 高齢者の生活実態とこれを取り巻く社会環境 4. 高齢者福祉の歴史 5. 介護保険法 6. 老人福祉法 7. 高齢者の医療の確保に関する法律（高齢者医療確保法） 8. 高齢者虐待の防止、高齢者の擁護者に対する支援等に関する法律（高齢者虐待防止法） 9. 高齢者、障害者等の移動等の円滑化の促進に関する法律（バリアフリー法） 10. 高齢者の居住の安定確保に関する法律（高齢者住まい法） 11. 高年齢者等の雇用の安定等に関する法律（高年齢者雇用安定法） 12. 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律（育児・介護休業法） 13. 高齢者と家族等の支援における関係機関と専門職の役割 14. 高齢者と家族等に対する支援の実際事業 15. 高齢者と家族等に対する支援の実際（介護技術） 前期末試験				
【使用テキスト・参考文献】 最新 社会福祉士養成講座2 「高齢者福祉」中央法規出版 社会福祉小六法		【単位認定の方法及び基準】 授業態度、積極性、提出物、試験、出席状況から総合的に評価する 総合評価により単位認定 評価基準：6割以上の成績をもって合格とする		